

【別紙様式 I】 令和4年度 学校評価報告書

学校名 厚木市立三田小学校

厚木市教育委員会の基本目標	1 自ら学び、鍛え、未来を拓き、夢や可能性に挑み続ける力の育成【挑戦】 2 自他の命や豊かな感性を大切に、多様性を認めながら共に生きていく力の育成【共生】 3 変化する社会に自ら進んで関わり、人々と協働してより良い社会を創る力の育成【創造】	校長名 田口 真由美
---------------	--	------------

学校教育目標	学校経営の方針
人権・安心安全 子どもの人権を大切にしたい自己肯定感を育む教育の推進	「自他の成長を認め合い、安心して生活できる学校」

今年度の重点目標

○SDGsへの取組:総合的な学習の時間、生活科、理科、社会科を中心にESDを進める。
 ○道徳教育の充実:<重点項目…親切・思いやり>全校道徳の取組
 ○インクルーシブ教育の推進:誰もが居心地のよい認め合える場を基本とする。
 ○カリキュラムマネジメント:状況をとらえ、感染症対策や働き方改革の視点を生かして進める。
 ○小中連携・幼保小連携:巡回相談等を活用し、円滑な教育の継続をめざす。

評価項目・指標等	基本目標との関連	具体的な取組	成果と課題	次年度への具体的な改善策
学ぶ力や態度の育成【学力向上】	1	・校内研究を通じた授業改善 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じながらの授業づくり	○「生き生きと思いを伝え合う子の育成～思考を整理する活動を通して～」をテーマに、国語科の書く活動を通して、「思考を整理する活動」に重点を置いて研究を進めてきた。 【成果】国語科における目指す子ども像の具現化 ①意欲をもって活動に取り組める子 ②言葉の特質を理解して適切に使える子 ③言語感覚を養い、自分の思いを言葉で表現できる子 【課題】 ・書く活動と話し合い活動のバランス ・活動の目的の明確化 ○「主体的・対話的で深い学び」の構築のため、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じながら交流方法を考え、授業を展開してきた。 【成果】学びを止めないための授業改善 ・活動内容を工夫したり、パーテーションを利用したりしながら、学びを継続させることができた。 【課題】 ・chromebookを使った遠隔授業等の実施に向けた計画・準備	○今後とも、実践及び授業改善を進め、「生き生きと思いを伝え合う子の育成～思考を整理する活動を通して～」を目指す。 ○指導と評価の一体化を意識することで、つけたい力のために最適な支援や活動を取り入れる等の授業改善を図る。 ○コロナウイルス感染症への対応が変わり、学習や行事の形式を再度確認していく。場面に応じた有効な手立てを改めて模索していく。

互いの良さを認め合え、人権の尊重を重視した心の育成【人権】	1・2・3	<p>・「特別の教科道徳」の推進</p> <p>・命の日</p> <p>・人権週間</p>	<p>○道徳教育推進教諭中心に「思いやり」をテーマに、全校一斉に道徳の授業を行った。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年を縦割りにし、リモートでつなぎながら、考えの交流をすることができた。 ・学級の枠を超えた交流を通して、考えの幅が広がるとともに、それぞれの価値観や考えを認め合える場となった。 <p>○毎月「命の日」を設定し、全校に向けて心に響く取組をしたり、学年の発達段階に応じた「命」を大事にする指導を行ったりしてきた。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生命尊重」「交通事故」「水の事故」「食育」など、様々な視点から「命」について考えることができた。 <p>○人権週間に、人権担当や児童の話を放送したり、いじめや暴力は絶対に許してはいけないということを再確認したりした。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・互いを大切にする心を育成するとともに、互いの良さを認め合うことを大切にする心を育成することができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権週間だけではなく、随時人権意識を高める活動が必要である。 	<p>○次年度も引き続き道徳教育推進教諭中心に「全校道徳」を計画実施していく。このことにより、児童のより豊かな心の育成に努める。</p> <p>○今後とも、教材研究を重ね、授業改善を行いながら、「考え」「議論する」道徳を展開していく。</p> <p>○年間を通して、自分の命も他者の命も大切にできる心情を育てていく。また、自分の命は自分で守るという意識の定着を図る。</p> <p>○人権意識を高めるために、教職員自身がよい手本となれるよう意識を高くもって児童支援及び児童指導にあたる。</p> <p>○人権週間において、「命の授業」同様、より児童の豊かな心の育成に努めるために、計画的に実施していく。</p>
-------------------------------	-------	---	---	---

<p>安心安全な学校環境づくり 【安心・安全】</p>	<p>3</p>	<p>・教職員による消毒・清掃</p> <p>・清掃指導の徹底</p>	<p>○コロナ感染症の状況が変わるたびに打合せなどで教職員で確認をした。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルを共有し、全教職員一丸となって新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めることができた。 <p>○児童にできる範囲での清掃活動ができるように、コロナ予算や元気アップスクール交付金などを活用し、清掃用具を整えることができた。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水飲み場近くの床など汚れが落ちにくいところも清潔に保つことができた。 ・11月にPTA活動として保護者の手によりトイレや手洗い場がきれいになり、ありがたかった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の活動に制限があるため、きれいになりにくいところもあった。 	<p>○今後とも、児童が安心して学校生活を送ることができるように国県市の対応を注視して教育活動に反映させていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大小関わらず工事が入る場合は、機材の搬入や外部から人や車の出入りが頻繁となるため、現状を的確に把握し、安全に留意していく。 ・清掃活動を通して、自分達の学校をきれいにしようとする心情を育てていく。 ・児童の手が届きにくいところや活動が制限されていてできないところに関しては、保護者や地域の力を借りていく。
<p>健康安全教育の推進 【安心・安全】</p>	<p>1・3</p>	<p>・地域と連携した安全指導</p>	<p>○地域の「見守り隊」のみなさんと協力しながら、児童の登下校時における安全指導を行ってきた。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三田小学校の全児童を、地域、保護者、学校で見守ることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域にお願いすることが多くなり、家庭との連携が図れていないというご意見をいただいている。 ・今年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「見守り隊総会」は書面開催となった。 	<p>・新型コロナウイルス感染症が収束した際には、「見守り隊総会」を開き、地域とともにある学校づくりに努めたい。また、学校評価でも、登下校の見守りについて保護者の参加が課題に挙がっていたため、PTAに呼びかけたり、学校だよりやHPを利用したりして、保護者の参画を促していきたい。</p>

<p>きまりやマナーを守って生活する子の育成 【人権】</p>	<p>2・3</p>	<p>・あいさつや言葉遣い、廊下歩行、名札着用の指導の徹底</p>	<p>○気持ちのよいあいさつができる児童が増えてきている。全教職員で同じ指導をしていけるように、学校のきまりについて共有化を図ることができた。 【成果】 ・児童又は登校班の班によって課題はあるが、保護者、地域共にあいさつに関して肯定的な評価を受けている。</p>	<p>○どこでも、誰にでも進んで自分からあいさつができるように今後とも指導を続けていく。 ○約束を守る大切さ、集団で生活するために必要なことを意識させるとともに、自ら学校をよくしていこうとする態度の育成に努める。また、自分達の活動が、学校をよくしていくことにつながっているということを実感させることにより、自己肯定感を育てていく。</p>
<p>個に応じた配慮や支援・教育相談</p>	<p>1・2・3</p>	<p>・児童教育相談 ・SCや元気アップアシスタントとの連携 ・ケース会議 ・問題行動への迅速な対応 ・他機関との連携</p>	<p>○三田小学校の全児童を、全教職員で支援していく体制をとることができた。また、積極的に外部機関との連携を図ることができた。 【成果】 ・保護者からは、「先生方みんなで見守ってくれている」などという意見を多数いただいた。家庭と協力して児童に寄り添った支援・指導を図ることができた。 ・児童一人一人の状況を丁寧に見取り、課題に対して速やかに支援することができた。また、家庭との情報共有や医療連携を含めた他機関との連携も問題解決への有効な手立てとなった。 【課題】 ・個々の抱える課題が多様化しているため、それぞれに合った支援策を講ずることができるよう教職員の研修が必要である。</p>	<p>○授業づくりを工夫し、個に応じた支援を推進するとともに、学カステップアップ支援員や元気アップアシスタントによる個別支援をさらに充実させていく。 ○様々な事情で学校に登校することが難しくなっている児童が増えてきている実態から、家庭と連携したり、ケース会議を行ったり、他機関と連携しながら支援の充実を図っていく。 ○コロナ禍において、児童の抱える課題が多様化しているため、今後ともアンテナを高くして支援をしていく必要がある。</p>

今年度の学校関係者評価委員会からの意見

- ・ 自然豊かな立地の学校であるので、校庭で遊んでいる児童も多く、のびのびと成長している。
- ・ 先生も子供達も挨拶を進んでしてくれて気持ちが良い。
- ・ 校長先生を始めとする教職員が、一人一人の児童に真剣に向き合っていて、その声が児童に届いている。
- ・ 校長先生や見守り隊により、児童の安全面に配慮している。地域の温かさが感じられる。
- ・ 児童が主体となって学校づくりに取り組んでいる。先生、保護者、地域の方々が温かく支え、子供達がのびのびと学校生活を送ることができている。
- ・ 子供の居場所づくりとしての「三田っ子ルーム」開設で救われた子供達がいることに感謝している。
- ・ 運動会や授業参観等、密を避けるための地区・時間指定等が工夫され良い感染防止対策だと思った。
- ・ 上級生と下級生のかかわりがよい。
- ・ 先生方の雰囲気がとてもよい。分かりやすい授業を心がけている。学校全体に明るい感じがして子供達も笑顔で楽しそう。今の感じを続けてほしい。地域との連携も大変良好。

- ・ 学業については自発的に学ぶ心を、人間性については教育の原点ともいえる礼儀・作法・道徳心を養い、相手のことを考えて行動ができる人間になってほしい。
- ・ 今の三田小のまま、温かい環境で子供達がまっすぐ、負けない、くじけない、優しい子に育つよう学校・地域・保護者で支えていけるとよい。
- ・ 三田小学校の「よいところ」の継続。
- ・ 社会の変化に対応できる学校の環境づくりと、児童一人一人の個性に合わせたサポートの提供をお願いしたい。
- ・ チャレンジする気持ち、失敗してもやり直せる体験を学校でもつくってほしい。
- ・ 身近な自然、動植物を見つけ感じてほしい。季節ごとにそのような授業を取り入れてほしい。
- ・ いろいろな子がいて、認め合えるような授業、コミュニケーション、日常を過ごしてほしい。
- ・ 学校は、常に安心・安全なところであってほしい。
- ・ 本来は、家庭で学ばせるべき点ができていると感じることが多い。子供達がどういう状況でいるのか関心をもってほしい。そのような点で、「学校へ行こう週間」で少しでも多くの親が学校へ足を運ぶようにPRしてほしい。家庭での教育を大切にすることに関心を持たせてほしい。

今年度の学校経営のまとめ ・ 次年度への改善の方針

「人権」「安心・安全」を学校経営の最重要項目にあげ、チーム三田を合言葉に全教職員一丸となって、児童が心も体も安心・安全に過ごせる学校づくりに努めてきた。安心・安全な環境づくりとして、各種訓練の。また、心の安心・安全として、個に応じた配慮や支援の体制をさらに整えるとともに、医療連携を含む、外部機関との連携を積極的に図ってきた。

次年度に向けても、児童の人権を守るとともに人権感覚を養う学校を創るための組織を確立する。また、チームとして一人一人の児童に寄り添い、適切な支援を行うとともに、他機関との連携や人的配慮、合理的配慮についてもさらに改善を図っていく。